

## 欠席委員の意見

### 「長崎駅周辺土地区画整理事業の推進」について

- ・長崎市中心部には、大規模イベントを開催できる場所が「水辺の森公園」しかないので、長崎駅の近くに広場を確保できないか。
- ・東口駅前広場は広過ぎて、殺風景な雰囲気になるのではないか。適切な規模に縮小し、その分、有効に使える建築敷地を広げる方がよい。

### 「景観計画に基づく良好な景観形成の推進」について

- ・浦上川右岸部の川に面する区域には、建物の高さや色、屋根・バルコニーの形状など、外観に関するデザインコードを定め、統一感のあるまちなみ景観の形成を誘導していけば、観光面でもメリットがあると思われる。

### 「日本二十六聖人殉教地の保存と活用」について

- ・海への眺望を阻害する建物が既にあるとしても、建築規制は早めに掛けた方がよい。海への眺望を全面的に確保するのは難しいだろうが、部分的にでも海が望めるように担保すべきである。
- ・西坂でのキリシタンの処刑は、信徒にとって忌むべき出来事であり、当時の為政者側が意図したように海への眺望を確保することは、信徒の反感を買うのではないか。それより、同地が日本第1号のカトリック巡礼所として承認されたことを受け、積極的なPRと長崎駅からの歩行者動線の強化（バリアフリーのアクセスルート確保）、雨の日でも巡礼できる環境整備などを進めるべきである。

### 「浦上川の東西の連携強化」について

- ・旭大橋を撤去するのは勿体ない。右岸地区から長崎駅への車によるアクセスは、多少遠回りでも稲佐橋と浦上川線で確保できるので、歩行者専用の橋を別に架設すればよい。

### 「新駅舎から元船方面への歩行者デッキの整備」について

- ・JR九州が費用負担を拒否する中で南口改札を設けると、行政にとって大きな負担となるおそれがある。南口改札に限定するのではなく、中央改札から新駅舎の内外を通して南方面への動線を確保する方法なども考え、整備計画の実施事項としては「港方面へのアプローチの確保」といった記載にしてはどうか。

### 「公共交通機関のシステム充実・強化」について

- ・トランジットモールは、現時点で廃止と結論付けず、もう少し検討できないか。駅舎と電停が離れてしまうと大変不便であり、利用者が減るのではないか。

### 「都市基盤施設の整備に向けた課題等の整理」について

- ・自治会や経済団体、県民・市民など、範囲が限られた人たちの意向は踏まえているのだろうが、本整備計画に盛り込まれた施策の中には、観光客にサービスを提供するものも少なくないため、そのニーズを適切に把握・反映することが必要である。